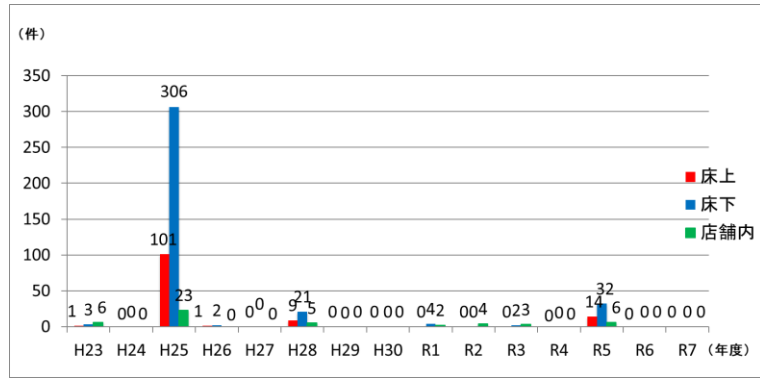


浸水被害の現状



過去15年間の市内浸水被害の状況 (H23~R7年度)



我孫子市布佐地区 (H25年10月)



我孫子市泉地区 (R5年9月)



我孫子市若松地区 (H25年10月)

浸水対策の取り組み

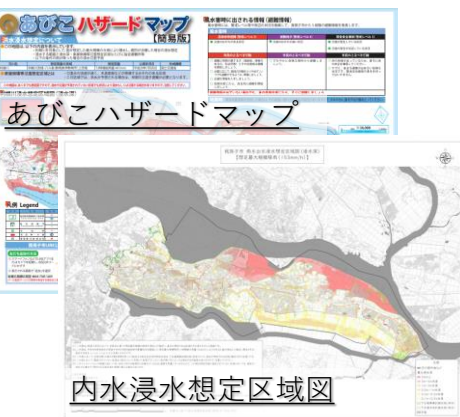
〔利根川等の水防〕
・利根川、手賀川及び手賀沼に水防警報が発令された場合には、水防団と連携し災害の減少を図ります。
〔市民安全課と連携〕
・出水期前には水防体制の万全を期するため、柏市と合同で水防演習を実施しています。



令和7年度 排水ポンプ車操作訓練

〔危機管理〕
・ポンプが故障するなどのトラブルが発生した場合には、災害協定に基づき建設業会、電設組合、レンタル会社の協力を得て対応します。
・浸水被害が発生した場合には国土交通省が保有する排水ポンプ車の出動要請を行います。

〔洪水/浸水ハザードマップ〕
・国土交通省の浸水想定に基づいて、浸水範囲、避難場所などを示した洪水ハザードマップを公表しています。(市民安全課)
また、令和7年度に、想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図を作成し、公表しました。



内水浸水想定区域図



ポンプ点検

〔維持管理〕
・完成した幹線水路やポンプ設備などを適切に維持管理し、洪水時に確実に機能を発揮させるため、水路や準用河川の管理事務、幹線水路等の構造物の点検・ポンプ場の分電盤操作・補修・更新を行っています。

〔流出抑制指導〕
・宅地開発による流出を抑制するため、開発に伴う雨水流出抑制施設の設置指導を行っています。
・具体的には、一定の規模の開発の際には、貯留施設や浸透施設により雨水流出抑制を行うことを求めています。



雨水貯留施設の例



令和7年度 利根川河川清掃

〔利根川河川清掃〕
・市内河川の治水対策と密接に関連し、市民の憩いの場でもある国管理の利根川の河川清掃を毎年実施しています。

令和8年度 我孫子市の浸水対策の概要

我孫子市では、これまでの浸水被害の状況を踏まえ、市内各所で対策を進めてきました。しかしながら、平成25年10月の台風26号の記録的な豪雨により、布佐地区・若松地区では過去に例のない浸水被害が発生しました。こうした浸水被害を軽減するためポンプ施設築造を重点的に進め、平成26年度布佐地区はポンプ場、若松地区は樋管及びポンプ場が完成し、供用開始しました。また、平成28年度には、久寺家地区で雨水管の布設、我孫子4丁目地区では調整池が完成しました。さらに、令和5年度には、若松地区でバイパス管が完成しました。これまでの整備事業により、浸水被害は軽減していますが、引き続き浸水対策を進めていきます。

令和8年度は、布佐、柴崎地区で排水施設整備を行い、水害の軽減に努めています。さらに、国・県・手賀沼土地改良区に対して、大雨に備えた手賀沼の事前放流を要請します。

〔水害対策の進め方〕

浸水対策は、被害箇所を中心に根本的な対策を進めているところですが、対策が完成するまでには、多額の予算と長い年月を要します。このため、中・長期的な対策、緊急的な対策、市民の皆様にご協力を頂くソフト対策の3つの施策をバランスよく組合せて、水害に強いまちづくりを進めていきます。

①中・長期的な対策

我孫子市の水害対策は、これまでの浸水被害の状況を踏まえ、各地区の特性に合わせて幹線整備、ポンプ場の建設、雨水管の布設といった整備を進めています。このうち、幹線排水路が完成しながらも床上・床下浸水被害が多発している地区については、新たな排水ルートや分流・分散による対策を検討・実施していきます。主要な整備箇所は以下の5箇所となります。

1. 布佐排水区の整備
2. 柴崎排水区の整備
3. 天王台排水区の整備
4. 根戸排水区の整備
5. 子の神排水区の整備



布佐ポンプ場完成

②緊急的な対策

既存の排水施設などの浚渫や清掃、道路排水施設の改修等を行い排水能力の確保や向上に努めていきます。具体的には、U字溝のコンクリート蓋をグレーチング蓋への交換、地形的に集水しやすい地区については、一極集水を避けるための道路排水施設経路の変更などの対策を進めていきます。



緊急対策 (グレーチング蓋)

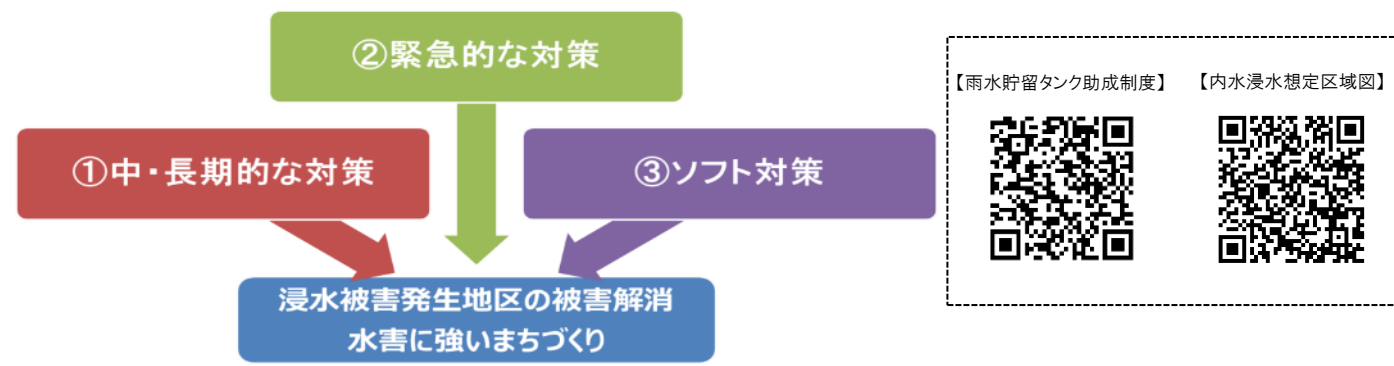
③ソフト対策

我孫子市では、豪雨から市民の貴重な財産と快適な生活環境を守るため、ポンプ場の建設や幹線の整備に取り組んでいます。しかし、これら施設の整備には長い時間とたくさんの予算が必要となります。このため水害対策施設の整備に加え、開発行為等に伴って増大する雨水流出量を抑制する事や、建築物の敷地内に雨水浸透施設の設置のお願い、雨水貯留タンクの設置支援といったソフト対策の取組みを推進しています。

また、万が一の場合に備えて、安全な避難に役立ていただくため、あびこハザードマップ及び、想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図を公表しています。



雨水貯留タンクの例



「手賀沼のうなきちさん」

〔発行・問合せ〕: 我孫子市役所 建設部 治水課
Tel.04-7185-1509(直通)
ホームページ URL <http://www.city.abiko.chiba.jp/>

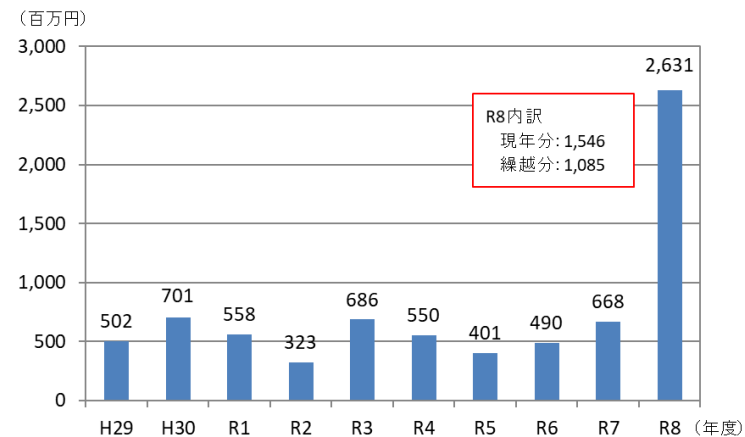


建設部治水課では、市内の治水情報を発信するため、X(旧Twitter)を利用した試行的ページを開設しています。ぜひ、フォローして治水情報を入手してください。
X 我孫子市役所治水課@abk_chisui

令和8年度主要事業

～水害常襲地域の特性にあった対策の推進～

浸水対策事業費の推移 (H29～R8)



- * 事業費は百万円単位で表示
- * H29～R6は決算額、R7は決算見込額、R8は当初予算額 (繰越含む)
- * 排水施設の維持管理事業は含まない。

R3年度完了事業 天王台6丁目地区の整備(H23年～R3年度)

- ・総事業費 約 6.2億円
- ・事業概要
暫定貯留浸透施設 1,500㎡(H29年4月完成)
雨水管新設 約200m (R1年12月完成)



暫定貯留浸透施設(施工時)



施設地上部(完成後)

R7年度完了事業 排水施設の維持管理事業(金谷排水機場の更新工事)(R5年～R7年度)

排水施設の維持管理事業として令和5年度より金谷排水機場の更新工事を実施し、令和7年度に完了しました。金谷排水機場は、つくし野川の下流に位置し、田中調節池を経由して利根川に放流する施設です。放流先の田中調節池は利根川の洪水調節池となっており、大雨により利根川の洪水が田中調節池に流入した際、排水樋管のゲートを閉鎖し、金谷排水機場により強制排水を行います。築後約30年経過した施設を更新し、安定した排水能力を確保するため排水施設の維持管理事業を実施しました。

- ・総事業費 約 11.2億円 (うち柏市負担は約2.3億)
- ・事業概要
金谷排水機場の更新(R7年度完了)
計画排水量 3m³/秒



雨水ポンプ吐出口(施工前)



雨水排水ポンプ(施工後)

柴崎排水区の整備(H23年度～)

- ・これまでの事業費(決算額) 約 29.8億円
- ・R8年度予算額 約15億8,094万円(繰越含む)
- ・R8年度予定事業
雨水幹線整備工事(R6.11～R8.12)
雨水幹線整備工事(R8.12～R10.10)
- ・事業概要
排水区面積 129.51ha
堤外排水路築造 約750m(H30年3月完成)
後田樋管改修(R1年8月完成)
雨水幹線工事185m(R4年11月完成)
幹線排水路整備 約2,000m(後田樋管～天王台6丁目)



後田樋管(整備後)



整備後の状況(管路内部)

H29年度完了事業 久寺家第一排水区の整備(H23～H29年度)

- ・総事業費 約 4.7億円
- ・事業概要
排水区面積 142.94ha
(我孫子市域 54.09ha 柏市域 88.85ha)
雨水管改修・新設(H28年9月完成)

R1年度完了事業 関東排水区の整備(我孫子駅北口浸水対策事業)(H22～R1年度)

- ・総事業費 約 8.6億円
- ・事業概要
排水区面積 62.07ha
下水道浸水被害軽減総合計画による雨水調整池整備(H29年1月完成)
調整池集水面積 15.29ha



地下式調整池



調整池上部
(我孫子4丁目いこの広場)

R6年度完了事業 若松第1～第5排水区の整備(H23～R6年度)

- ・総事業費 約 20.4億円
- ・事業概要
全排水区面積 36.78ha, 計画排水量 5.492m³/秒
樋管新設 5か所, ポンプ場改修 4か所(H26年度完成)
雨水管新設 約1,390m(R5年9月完成)



若松第1樋管



雨水管布設工事

布佐排水区の整備 (H13年度～)

- ・これまでの事業費(決算額) 約 38.2億円
- ・R8年度予算額 約10億2,111万円(繰越含む)
- ・R8年度予定事業
雨水幹線整備工事(R7.10～R9.2)
- ・事業概要
排水区面積 204.32ha
計画排水量 11.839m³/秒(計画) 8.4 m³/秒(現況)
布佐ポンプ場(H27年3月完成)
雨水幹線整備 約2,000m



布佐ポンプ場



雨水幹線施工状況



「手賀沼のうなぎちゃん」

整備中事業 (交付金対象)

整備済事業

排水施設の維持管理事業

* 工事内容及び工事期間は、現時点での予定であり、財政状況等により変更となる場合があります。